

第1編 概 況

1. 沿 革

甲斐志料集成によれば（以下本文記載の史実はみなこれによる）谷村町附近一帯を多良郷と呼び中古田原郷に作るとあり、田原とは水田多き原を云い、一郡水田の開けし所此地に勝れるはなし、郷名の起る処知りぬべしとあり。

天文元壬辰年（紀元1532年）小山田越中守屋村へ館を立て都留郡を領し、天文10年迄谷村に居住す。

天文10年小山田氏滅亡の後、徳川の家臣鳥居彦右衛門尉元忠へ郡内を給り谷村に居住す。天文18年元忠上総国矢作に移りてより羽柴少将秀勝の領地となり家臣三輪五右衛門尉近家来りて治む。天文19年始め近家美濃国岐阜に移り、同4月頃より加藤作内光吉これに代り、文祿元年壬辰、光吉朝鮮の役に従い美濃国黒野に移る。

文祿2年河野左衛門佐来り治む。文祿3年勝山城を築く。これまでは館のみにて城はなかりしと云。慶長五年左衛門佐浅野幸長に従つて紀州へ移り木の本に住す。慶長六年鳥居成次在城し、同8年成次卒し男淡路守相續、9年忠長卿の事により罪を蒙り出羽国最上に遷る。

寛永10年2月、上州群馬郡惣社より秋元但馬守泰朝来つて在城す。富朝、喬朝相續在城す。宝永2年3月秋元氏武州川越に移りてより勝山城は廢城となり、徳川氏の直轄領地となり御代官陣屋を置かる。

本町は往古一村なりしが、文祿3年浅野左衛門佐檢地の時より上谷村、下谷村の2村に分れ、明治8年1月19日合併して一村谷村となる。

明治29年3月7日町制を施行して、谷村町と称する。

大正11年12月30日上水道竣功、12年2月1日より給水を開始する。

大正12年8月より町営電気供給事業を開始し、昭和3年8月町役場庁舎を改築する。

昭和9年4月公益質屋を開始する。

昭和17年4月1日隣村三吉村、開地村を合併し現在の谷村町となる。合併当時の戸数人口は、谷村町戸数1,810、人口9,284。三吉村240戸数、人口1,302。開地村戸数241、人口1,312。合計戸数2,291戸、人口11,898人であつた。

旧三吉村は明治8年9月法能、玉川、戸沢の3村合併して「三」に賀字の「吉」をあてゝ新名村としたものである。また旧開地村は同年4月小野、熊井戸、菅野

を併せて文化のひくい土地を開くの意をこめて開地村と名付けたものである。

昭和17年11月電気事業を関東配電株式会社へ出資し、同18年4月より公益質屋休止、昭和23年3月谷村町自治警察署設置、同26年9月住民投票の結果町警察署を廃止、27年7月公益質屋事業を再開して今日に至る。

2. 位置と地勢

谷村町は東経138度 79 北緯35度33の辺に位し、南都留郡の東北部にあり。北は連山を隔て、北都留郡初狩村に境し、東は禾生村と相接し東南又連山を以て盛里村、道志村と境す。西は東桂村に接し、西北の一带は桂川を隔て、宝村と相対す。

町の中央部に近く桂川を隔て、古跡城山あり、南道志村境に御正体山を望み、西部には遙かに靈峯富士の雄姿を仰ぐ。西南より東北に傾斜し桂川は東桂村より入りて町の西北部を流れて禾生村に入る。菅野川は菅野部落の山奥より発して旧開地村の中央を流れて、旧三吉村の戸沢川を合流して禾生村に入り小野川となる。

3. 面積

谷村町は東西11.9軒 南北15.3軒、総面積は46.76平方軒であつて、山梨県総面積4,465,886平方軒の1%強にあたつている。

昭和17年4月1日隣村三吉村と開地村を合併前は総面積僅かに7.1平方軒に過ぎなかつたが、三吉村16.73平方軒開地村22.93平方軒を合併して現在の谷村町となつた。

(イ) 民有土地 (10月1日現在)

| 地目 | 地積 | 旧賃貸価格 | 評価額 |
|-----|------------------------|---------------------|-------------------------|
| 田 | 194.7.310 ^歩 | 26,335 ^円 | 35,024,600 ^円 |
| 畑 | 396.3.104 | 36.827 | 51,185,900 |
| 山林 | 989.7.519 | 5,072 | 11,263,600 |
| 原野 | 68.3.819 | 477 | 788,000 |
| 雑種地 | 5.204 | 241 | 250,200 |
| 宅地 | 193.825 ^坪 | 79,221 | 82,389,400 |
| 計 | | | 180,901,700 |

(口) 家 屋 (10月1日現在)

| 種 別 | 床 面 積 | 旧 賃 貸 価 格 | 評 価 額 |
|-----|---------|-----------|-------------|
| | 坪 | 円 | 円 |
| 住 家 | 73.735 | — | 220,417,600 |
| 店 舗 | 12.388 | — | 32,446,700 |
| 工 場 | 8.938 | — | 27,958,900 |
| 倉 庫 | 4.682 | — | 23,207,500 |
| 雑 種 | 1.295 | — | 7,366,800 |
| 計 | 101.038 | — | 311,397,500 |

4. 人口及び世帯数

昭和27年7月1日現在住民登録調査によれば

人 口 14,363人 男 6,921人
女 7,442人

世 帯 数 2,755戸

(参考)

明治29年3月7日谷村町制施行当時は

人 口 5,500人

世 帯 1,100戸

昭和17年4月1日三吉、開地両村合併当時は

人 口 11,898人

世 帯 2,291戸

地区別世帯数及び人口は次のようである。

| 町 区 域 別 | 世 帯 数 | 人 口 |
|-----------|--------|---------|
| 旧 谷 村 町 | 2,266戸 | 11,130人 |
| 旧 三 吉 区 域 | 292戸 | 1,719人 |
| 旧 開 地 区 域 | 303戸 | 1,592人 |
| 計 | 2,861戸 | 14,441人 |

註 本表は7月1日現在配給係調査によるものである。